
「黒猫の朝」

革新家の核心

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「黒猫の朝」

【コード】

N5355Z

【作者名】

革新家の核心

【あらすじ】

野良の真つ黒る黒猫の生きる道を描いています。

1000字程度でさらさら読むことができると思いますので休憩代りに。

私のブログに以前掲載したものをuぷしてみました。

<http://dxpu.blogspot.fc2.com/>

(前書き)

生物は究極の理想を追求する。

猫も然り。

太陽が昇り始め東の水平線上に橙、朱、黄色などの赤を基調とした色のコントラストが綺麗に濃淡を描いている。

どこかの個展の額縁の中の風景のようだ。

民家の塀の上でそれを鑑賞し、背筋を伸ばしリラックスしてから塀から降りる。

そこは地の世界。

人工的な平行四辺形のコンクリートを規則的に組み合わせた地面が視野の5割りを占領し、右も塀があるので視野のほとんどがグレーの変哲のないコンクリート。

だが、その溝に少し生えた苔がたまに見られるのは少し滑稽なものである。

小さな発見を探すために今日も散歩道を歩く。

時には、雑木林の中。

時には、道路脇の歩道。

時には、廃屋、使われなくなった用水路。

どこもコンクリートに覆われている。人間の利便性を求めた結果がこれである。

他の生物と協調性を求めなかったために絶滅した種などは一般人が知らないほどにたくさんいる。

景色という面ではどんどん絶滅していつていいるだろう。

地面の土は消えうせ、丈夫な雑草のみが鬱蒼と生え残り、まるで無精髭のごとく。

その無精ひげを潜り抜けたかと思うと、今度は目の前に強化プラスチックで覆われたブツ・車・が疾風怒濤で走っている。

それが来なくなった隙を見計らって、例の忌まわしきグレーを蹴って走り抜けるのは至難の業である。

五臓六腑すべてを腹から出し横たわっているもの、全身をプレスされて横に引き伸ばされたような状態になって死亡しているものとたくさん見てきた。

ソレ - 器 - の仲間入りするのはお断りだ。

命を失った体は器へとなり下がり、腐敗するか、焼却されるかの二つの選択肢しか残されていない。

そんなのは嫌である。

絶対に生き延びる。

この腐りきった場所でも美しい景色 - 楽園 Paradise - を見つけるのだ。

地面からは土、顔の横からは花、頭上からは木々の深緑、更に上からは太陽、それらを享受する事が出来る場所を探すのである。

背中に照りつける白熱であり灼熱の輝き。

まだ晩冬であるにも拘らず太陽の輝きは、寒さなど凌駕し焼きつけるかのようである。

太陽も応援してくれているのだろう。

楽園を見つけることを。

楽園。

そこに生きる意味を見出す。

人間が自分らの理想に走るのならば、自分も同じことをすればいい。猿真似といわれるかもしれないが、内容的には破壊か幻想かの究極的で絶対的な差がある。

暗雲が差し掛かったその頃、散歩道によく顔を出していた黒猫が見られなくなった。

黒猫と仲の良かった少年、老夫婦などは木々の隣にある苔の生えた

椅子に座り暗くなるまで待った。

学校帰り、散歩の時間、各々が可能な限り待った。

1 週間

3 週間

9 週間

1 年。

黒猫は姿をみせなくなった。

(後書き)

かなり前に書いたものですので稚拙なところも多いかもしれませんが。

ですがここまで読んでくれた

あなたは道端で出会ったニヤンコ達にきつとときめくでしょう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5355z/>

「黒猫の朝」

2011年12月18日00時47分発行